

千夜一夜の頭痛物語 序章

文 清水俊彦

Text by Toshiko Shimizu

4000万人の頭痛

千夜一夜物語はアラビアンナイトとして皆さんよくご存じだと思います。その中心的な登場人物であるシャフリヤール王は、妻が奴隷と不貞していたことを知ったことから極度な女性不信に陥り、家臣に処女を探させては、一夜を共にし、翌朝には処刑するという蛮行を繰り返し続けました。このような蛮行を繰り返すシャフリヤール王に仕える家臣は、王のために処女を見つけることに日夜奔走しました。その疲弊しきった姿を見るに耐えかねた家臣の娘シエヘラザードは、自ら王の夜の相手となり、王の蛮行を止めるための工夫を試みました。一夜の営みが終わった後、妹のドニアザードから「お姉さまのお話を聞かせてください」とせが



まれたシエヘラザードは、王と妹に物語を話し始めたのですが、物語が佳境に入ったところで、物語を故意に中断し、王の興味を引くがごとく振る舞い、千夜にわたりこれを繰り返すことにより処刑が一日ずつ延期されたのでした。この間に王との間に3人の子供をもうけたシエヘラザードはその後処刑を無事に免れ、また王は改心し、シエヘラザードは王妃として正式に迎えられ、めでたしめでたしというあらすじです。

さて、私も駆け出しは脳神経外科医師でしたが、大学院で頭痛治療の研究に携わったことから頭痛の治療と病態解明研究に邁進、気づけば30余年経過いたしました。またこの『美楽』での連載も100回を超え、頭痛に関して皆様が必要にして十分な知識をお伝えすることができたのではないかと自負しております。しかし頭痛に限らず、医学全般に関しては、未だ説明されていないことが多くあります。そこで今回は、未だ説明はされていないものの、事実として存在している頭痛に関する話題を皆様にお話しするために、アラビアンナイトになぞらえこのようなシリーズを考えました。千夜続ける

ことができな
いかもしま
せんし、また
皆様のご興味
を損ない、途
中で首を切ら
れるかもしれ
ませんが、常
日頃の診療や
私生活で経験
したことを中
心にお話しし
ていく予定で
す。中には医
学的根拠に乏
しい、私見を
交えた話題に
も踏み込むか
もしれません
が、終わりに
定かでないこ
のシリーズに
最後までお付
き合いたいだ
けたら幸いです。
乞うご期待！

Profile

日本脳神経外科学会認定医、日本頭痛学会監事を歴任。日本頭痛学会認定専門医。東京女子医科大学病院脳神経センター頭痛外来客員教授、獨協医科大学神経内科学講座臨床准教授、一般社団法人グリーンケアパートナー理事。

ほかに、汐留シティセンターセントラルクリニック、阿見第一クリニック、小山すぎの木クリニック、マミーズクリニック、伊豆大島医療センターの頭痛外来を担当。

昭和61年3月日本医科大学卒業。学会活動をはじめ、NHK「きょうの健康」「クローズアップ現代」など、テレビ出演も多い。『頭痛女子のトリセツ』（マガジンハウス）をはじめ、頭痛関連の著書多数。



新刊「マンガでわかる頭痛・めまい・耳鳴りの治し方」
監修/清水俊彦 推薦/佐渡島博平
新紀元社(1,080円(税込))販売中。

